

忘れる

去年の今ごろ何を着ていたの「わがうきや」と言う透平が来る人何忘れろうだ

たがしかりたことうれしかつたことうら

かつたこと悲しいこと金銀がわゆるや

は有りおぼえていてもその原合はうすれて新

く時と言うのぼおじい消しごんだ

人金の中どその消しごんだがきがあるほどの

感傷の妻他何がある

遠い昔より最近の方が強烈とிரうあやでは

あいの心にうけた衝撃のうさ深かきなう不

ゆか少なりが忘れられりことがある

そりーに別れがある徐々にびびる突然

別れた別れを感こんでるの有り別れ

だ別れを平とどうするかも少かうな別れ

死別と同様だ死別とちがうのは相手は生き

るいるのだしかも相手も自分もその別れが

突然で死ると同時瞬間に心も集う状態がうし厚少

れがいくとだ

あながいしヨリをうけるそのまじり

か解調に可うられる 当然忘れらるる 消し
ごんがきかたない 去来正とた

もう一つこれを機会に存しととにしよう
する 甜手を花見

それ何府等に別れりてはよく朝よに意気
アヲ又うれりことなる

こん 習得 消し ぶら ぼん けし ぬく こと
エが ぞ 正

早く去年の服の柄になつてほしい